

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2012-205461

(P2012-205461A)

(43) 公開日 平成24年10月22日(2012.10.22)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
H02J 7/00 (2006.01)	H02J 7/00 U	5G503
H01M 10/44 (2006.01)	H02J 7/00 P	5H030
H01M 10/46 (2006.01)	H01M 10/44 Q	5H125
G06Q 30/02 (2012.01)	H01M 10/46	
B60L 11/18 (2006.01)	G06F 17/60 326	
審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 11 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号 特願2011-70125 (P2011-70125)
 (22) 出願日 平成23年3月28日 (2011. 3. 28)

(71) 出願人 000003218
 株式会社豊田自動織機
 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地
 (74) 代理人 100074099
 弁理士 大菅 義之
 (72) 発明者 鈴木 恒雄
 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 株式会
 社豊田自動織機内
 (72) 発明者 小出 直孝
 愛知県刈谷市豊田町2丁目1番地 株式会
 社豊田自動織機内
 Fターム(参考) 5G503 AA01 BA01 BB01 CB09 FA06
 GD04 GD06
 5H030 AS08 BB09 FF51 FF67
 5H125 AA01 AC24 CC04 CC06 CD10

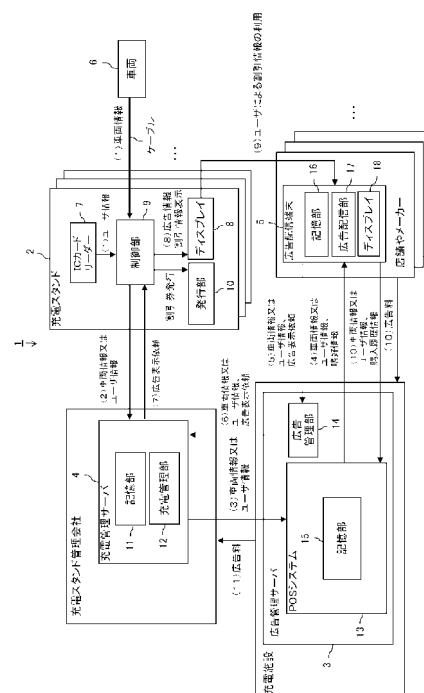
(54) 【発明の名称】 充電システム

(57) 【要約】

【課題】 充電スタンドを利用した十分な情報提示効果を図ることが可能な充電システムを提供することを目的とする。

【解決手段】 充電スタンド2と、広告管理サーバ3と、広告配信端末5とが互いに情報を送受信する充電システム1において、充電スタンド2は、広告管理サーバ3を介して広告配信端末5から送信される広告情報を表示し、広告管理サーバ3は、充電スタンド2から送信される車両情報又はユーザ情報に対応する購入履歴情報を記憶部15から取り出し、その購入履歴情報に基づいてユーザの商品に対する嗜好を分析し、その分析結果である嗜好情報を広告配信端末5に送信し、広告配信端末5は、広告管理サーバ3から送信される嗜好情報に対応する広告情報を広告管理サーバ3を介して充電スタンド2に送信する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

充電スタンドと、広告管理サーバと、広告配信端末とが互いに情報を送受信する充電システムであって、

前記充電スタンドは、

前記広告管理サーバを介して前記広告配信端末から送信される広告情報を表示する第 1 の表示手段と、

前記充電スタンドを利用している車両を特定するための車両情報又は前記充電スタンドを利用しているユーザを特定するためのユーザ情報を取得して前記広告管理サーバに送信する情報取得手段と、

を備え、

前記広告管理サーバは、

前記車両情報又は前記ユーザ情報と、前記ユーザにおける商品の購入履歴を示す購入履歴情報とを対応付けて記憶する第 1 の記憶手段と、

前記充電スタンドから送信される前記車両情報又は前記ユーザ情報に対応する前記購入履歴情報を前記第 1 の記憶手段から取り出し、その購入履歴情報に基づいて前記ユーザの商品に対する嗜好を分析し、その分析結果である嗜好情報を前記広告配信端末に送信する分析手段と、

前記広告配信端末から送信される前記広告情報を送信する広告管理手段と、

を備え、

前記広告配信端末は、前記広告管理サーバから送信される嗜好情報に対応する前記広告情報を前記広告管理サーバに送信する

ことを特徴とする充電システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の充電システムであって、

前記広告管理手段は、複数の前記広告配信端末からそれぞれ送信される広告料のうち、最も高い広告料に対応する前記広告情報を送信する

ことを特徴とする充電システム。

【請求項 3】

請求項 1 に記載の充電システムであって、

前記広告配信端末は、

前記嗜好情報と前記広告情報とを対応付けて記憶する第 2 の記憶手段と、

前記広告管理サーバから送信される嗜好情報に対応する前記広告情報を前記第 2 の記憶手段から取り出して前記広告管理サーバに送信する広告配信手段と、

を備えることを特徴とする充電システム。

【請求項 4】

請求項 1 に記載の充電システムであって、

前記広告配信端末は、

前記広告管理サーバから送信される嗜好情報を表示する第 2 の表示手段と、

前記第 2 の表示手段に表示される嗜好情報を閲覧した前記広告配信端末の操作者により作成された前記広告情報又は予め作成される複数の前記広告情報の中から前記操作者により選択された前記広告情報を前記広告管理サーバに送信する広告配信手段と、

を備えることを特徴とする充電システム。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の充電システムであって、

複数の前記充電スタンドと情報を送受信するとともに、前記広告管理サーバと情報を送受信する充電管理サーバを備え、

前記充電管理サーバは、

前記複数の充電スタンドからそれぞれ送信される、前記充電スタンドを特定するための充電スタンド情報と前記車両情報又は前記ユーザ情報とを対応付けて記憶する第 3 の記

10

20

30

40

50

憶手段と、

前記広告管理サーバを介して前記広告配信端末から前記広告情報とともに送信される前記車両情報又は前記ユーザ情報に対応する前記充電スタンド情報を前記第3の記憶手段から取り出し、その充電スタンド情報により特定される充電スタンドに前記広告情報を送信する充電管理手段と、

を備えることを特徴とする充電システム。

【請求項6】

請求項1に記載の充電システムであって、

前記分析手段は、前記購入履歴情報に示される複数の商品のうち、前記ユーザの購入回数が最も多い商品を前記嗜好情報として前記広告配信端末に送信する

10

ことを特徴とする充電システム。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、車両へ電力を供給する充電スタンドを備える充電システムに関する。

【背景技術】

【0002】

充電スタンドからプラグインハイブリット自動車や電気自動車などの車両へ、電力を供給するとともに、店舗の広告、観光情報、交通情報、又は生活情報などを配信する充電システムがある（例えば、特許文献1及び特許文献2参照）。このような充電システムでは、ユーザに情報が提示される場合に限って充電料金を割り引くようにしたり、車両への充電量により推測される走行距離に応じた観光情報、交通情報、又は生活情報をユーザに提示したりすることが行われている。

20

【0003】

しかしながら、ユーザに提示される情報は、ユーザの嗜好に合った情報になっておらず、充電スタンドを利用した十分な情報提示効果が図れていない。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献1】特開2010-114988号公報

30

【特許文献2】実用新案登録第3148265号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

本発明は、充電スタンドを利用した十分な情報提示効果を図ることが可能な充電システムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

本発明の充電システムは、充電スタンドと、広告管理サーバと、広告配信端末とが互いに情報を送受信する充電システムであって、前記充電スタンドは、前記広告管理サーバを介して前記広告配信端末から送信される広告情報を表示する第1の表示手段と、前記充電スタンドを利用している車両を特定するための車両情報又は前記充電スタンドを利用しているユーザを特定するためのユーザ情報を取得して前記広告管理サーバに送信する情報取得手段とを備え、前記広告管理サーバは、前記車両情報又は前記ユーザ情報と、前記ユーザにおける商品の購入履歴を示す購入履歴情報とを対応付けて記憶する第1の記憶手段と、前記充電スタンドから送信される前記車両情報又は前記ユーザ情報に対応する前記購入履歴情報を前記第1の記憶手段から取り出し、その購入履歴情報に基づいて前記ユーザの商品に対する嗜好を分析し、その分析結果である嗜好情報を前記広告配信端末に送信する分析手段と、前記広告配信端末から送信される前記広告情報を送信する広告管理手段とを備え、前記広告配信端末は、前記広告管理サーバから送信される嗜好情報に対応する前記

40

50

広告情報を前記広告管理サーバに送信する。

【0007】

これにより、ユーザの嗜好に合った広告をユーザに提示することができるため、充電スタンドを利用した十分な情報提示効果を図ることができる。

また、前記広告管理手段は、複数の前記広告配信端末からそれぞれ送信される広告料のうち、最も高い広告料に対応する前記広告情報を送信するように構成してもよい。

【0008】

また、前記広告配信端末は、前記嗜好情報と前記広告情報とを対応付けて記憶する第2の記憶手段と、前記広告管理サーバから送信される嗜好情報に対応する前記広告情報を前記第2の記憶手段から取り出して前記広告管理サーバに送信する広告配信手段とを備えるように構成してもよい。

10

【0009】

また、前記広告配信端末は、前記広告管理サーバから送信される嗜好情報を表示する第2の表示手段と、前記第2の表示手段に表示される嗜好情報を閲覧した前記広告配信端末の操作者により作成された前記広告情報又は予め作成される複数の前記広告情報の中から前記操作者により選択された前記広告情報を前記広告管理サーバに送信する広告配信手段とを備えるように構成してもよい。

【0010】

また、前記充電システムは、複数の前記充電スタンドと情報を送受信するとともに、前記広告管理サーバと情報を送受信する充電管理サーバを備え、前記充電管理サーバは、前記複数の充電スタンドからそれぞれ送信される、前記充電スタンドを特定するための充電スタンド情報と前記車両情報又は前記ユーザ情報とを対応付けて記憶する第3の記憶手段と、前記広告管理サーバを介して前記広告配信端末から前記広告情報とともに送信される前記車両情報又は前記ユーザ情報に対応する前記充電スタンド情報を前記第3の記憶手段から取り出し、その充電スタンド情報により特定される充電スタンドに前記広告情報を送信する充電管理手段とを備えるように構成してもよい。

20

【0011】

また、前記分析手段は、前記購入履歴情報に示される複数の商品のうち、前記ユーザの購入回数が最も多い商品を前記嗜好情報として前記広告配信端末に送信するように構成してもよい。

30

【発明の効果】

【0012】

本発明によれば、車両へ電力を供給する充電スタンドを備える充電システムにおいて、充電スタンドを利用した十分な情報提示効果を図ることができる。

【図面の簡単な説明】

【0013】

【図1】本発明の実施形態の充電システムを示す図である。

【図2】充電システムの全体の動作の流れを示すシーケンス図である。

【図3】POSシステムの記憶部に記憶されるテーブルの一例を示す図である。

【発明を実施するための形態】

40

【0014】

図1は、本発明の実施形態の充電システムを示す図である。

図1に示す充電システム1は、複数の充電スタンド2と、広告管理サーバ3と、充電管理サーバ4と、複数の広告配信端末5とを備える。

【0015】

複数の充電スタンド2は、それぞれ、ショッピングセンターやコンビニエンスストアなどの充電施設の駐車場などに設置され、充電施設内の商用電源から得られる電力をケーブルを介してプラグインハイブリット自動車や電気自動車などの車両6に供給する。

【0016】

また、充電スタンド2及び車両6は、それぞれ、無線又は有線の通信手段を備えており

50

、充電スタンド２からケーブルを介して車両６に電力が供給されると、車両６から充電スタンド２へ車両６を特定するための車両情報が送信される。このとき車両６から充電スタンド２へ送信される車両情報は、車両６への充電量に応じた充電料金を課金する際に行われる車両６の認証処理において、車両６から充電スタンド２へ送信される車両情報を利用してよい。

【００１７】

また、充電スタンド２は、充電スタンド２を利用するユーザを特定するためのユーザ情報が書き込まれているＩＣカードからそのユーザ情報を読み取るためのＩＣカードリーダー７と、充電管理サーバ４から送信される広告表示依頼に含まれる広告情報を表示するディスプレイ８（第１の表示手段）と、車両６から送信される車両情報又はＩＣカードリーダー７により読み取られるユーザ情報を充電管理サーバ４に送信する制御部９（例えば、ＣＰＵが搭載される制御ボードなど）と、充電管理サーバ４から送信される広告表示依頼に含まれる割引情報と車両情報又はユーザ情報とが印字される割引券を発行する発行部１０とを備える。なお、割引情報は、例えば、二次元バーコードとして広告情報とともにディスプレイ８に表示されてもよい。このように構成する場合、例えば、ユーザが携帯電話で二次元バーコードに示されるＵＲＬのサイトにアクセスすると、その携帯電話の画面に割引情報が表示されるようにしてもよい。また、特許請求の範囲に記載される情報取得手段は、例えば、ＩＣカードリーダー７や制御部９により構成されてもよい。

【００１８】

充電管理サーバ４は、充電スタンド管理会社などに設置され、記憶部１１（第３の記憶手段）と、充電管理部１２（充電管理手段）とを備える。

また、充電管理サーバ４は、複数の充電スタンド２からそれぞれ送信される、車両情報又はユーザ情報と、充電スタンド２を特定するための充電スタンド情報とを対応付けて記憶部１１に記憶する。

【００１９】

また、充電管理部１２は、広告管理サーバ３から広告表示依頼とともに送信される車両情報又はユーザ情報に対応する充電スタンド情報を記憶部１１から取り出し、その充電スタンド情報により特定される充電スタンド２に広告表示依頼を送信する。

【００２０】

広告管理サーバ３は、ＰＯＳシステム１３（分析手段）と、広告管理部１４（広告管理手段）とを備える。

ＰＯＳシステム１３は、各広告配信端末５からそれぞれ送信される、車両情報又はユーザ情報と、ユーザの商品の購入履歴を示す購入履歴情報とを対応付けて記憶する記憶部１５とを備える。なお、記憶部１５に記憶される車両情報又はユーザ情報や購入履歴情報は、広告配信端末５以外から取得するように構成してもよい。

【００２１】

また、ＰＯＳシステム１３は、車両情報又はユーザ情報を充電管理サーバ４から受信すると、その車両情報又はユーザ情報に対応する購入履歴情報を記憶部１５から取り出し、その取り出した購入履歴情報に基づいてユーザの商品に対する嗜好を分析し、その分析結果である嗜好情報を所定の広告配信端末５に送信する。

【００２２】

広告管理部１４は、複数の広告配信端末５からそれぞれ送信される広告表示依頼に含まれる広告料のうち、最も高い広告料を含む広告表示依頼を充電管理サーバ４に送信する。

複数の広告配信端末５は、それぞれ、ショッピングセンター内の各店舗やコンビニエンスストアで販売される商品を製造する各メーカーに設置されるものであって、記憶部１６（第２の記憶手段）と、広告配信部１７（広告配信手段）と、ディスプレイ１８（第２の表示手段）とを備える。

【００２３】

広告配信端末５は、嗜好情報と、その嗜好情報に関連する広告情報とを対応付けて記憶部１６に記憶しておく。例えば、広告配信端末５は、嗜好情報としての商品「ＡＡＡ」と

10

20

30

40

50

、広告情報としての「割引券をお持ち頂いた方又は割引情報が表示されている携帯電話の画面を見せて頂いた方、商品「A A A」を20%OFF」とを対応付けて記憶部16に記憶したり、嗜好情報としての商品「S S S」と、広告情報としての「割引券をお持ち頂いた方又は割引情報が表示されている携帯電話の画面を見せて頂いた方、商品「S S S」を10%OFF」とを対応付けて記憶部16に記憶しておく。

【0024】

広告配信部17は、広告管理サーバ3から車両情報又はユーザ情報とともに送信される嗜好情報に対応する広告情報を記憶部15から取り出し、その広告情報、割引情報、及び広告料を含む広告表示依頼と車両情報又はユーザ情報とを対応付けて記憶部16に記憶するとともに、その広告表示依頼と車両情報又はユーザ情報とを広告管理サーバ3に送信する。

10

【0025】

また、広告配信端末5は、ユーザの割引情報の利用時にその割引情報とともに示される車両情報又はユーザ情報と、その割引情報の利用時の購入履歴情報とを広告管理サーバ3に送信する。

【0026】

なお、広告配信端末5は、広告管理サーバ3から送信される嗜好情報をディスプレイ18に表示してもよい。このように構成する場合、広告配信端末5の操作者は、ディスプレイ18に表示される嗜好情報を閲覧した後、広告情報を作成したり、予め作成していた複数の広告情報の中から所望な広告情報を選択する。そして、広告配信部17は、その作成された広告情報又は選択された広告情報を含む広告表示依頼を広告管理サーバ3に送信する。

20

【0027】

図2は、充電システム1の全体の動作の流れを示すシーケンス図である。

まず、ユーザが充電スタンド2から延びるケーブルを車両6に接続した後、充電スタンド2の充電開始ボタンを押すなどして、充電スタンド2から車両6への電力供給が開始されると、充電スタンド2は、車両情報又はユーザ情報を取得し(S1)、その車両情報又はユーザ情報と、充電スタンド情報とを充電管理サーバ4に送信する。

【0028】

次に、充電管理サーバ4は、充電スタンド2から送信される車両情報又はユーザ情報と、充電スタンド情報とを対応付けて記憶部11に記憶し(S2)、その車両情報又はユーザ情報を広告管理サーバ3に送信する。

30

【0029】

次に、広告管理サーバ3のPOSシステム13は、充電管理サーバ4から送信される車両情報又はユーザ情報と一致する情報が記憶部15に存在するか否かの照合を行う。存在しない場合、POSシステム13は、その車両情報又はユーザ情報と、その車両情報又はユーザ情報が新規情報である旨を示す嗜好情報とを各広告配信端末5にそれぞれ送信する。一方、存在する場合、POSシステム13は、その車両情報又はユーザ情報に対応する購入履歴情報を記憶部15から取り出して、その購入履歴情報に基づいて、ユーザの嗜好を分析するとともに、その分析結果である嗜好情報に関連する広告配信端末5を複数の広告配信端末5から選出し(S3)、その車両情報又はユーザ情報と嗜好情報とを、選出した広告配信端末5に送信する。なお、このとき、店舗やメーカーが嗜好情報の提供の対価として情報料を充電スタンド管理会社や充電施設に支払うように構成してもよい。

40

【0030】

次に、広告配信端末5は、広告管理サーバ3から送信される嗜好情報に対応する広告情報を記憶部16から取り出し(S4)、その広告情報、割引情報、及び広告料を含む広告表示依頼と車両情報又はユーザ情報とを広告管理サーバ3に送信する。

【0031】

次に、広告管理サーバ3は、複数の広告配信端末5からそれぞれ送信される広告表示依頼のうち、最も高い広告料を含む広告表示依頼を求め(S5)、その広告表示依頼と車両

50

情報又はユーザ情報とを充電管理サーバ４に送信する。

【００３２】

次に、充電管理サーバ４は、広告管理サーバ３から送信される車両情報又はユーザ情報に対応する充電スタンド情報を記憶部１１から取り出し（Ｓ６）、その充電スタンド情報により特定される充電スタンド２に広告表示依頼を送信する。

【００３３】

次に、充電スタンド２は、充電管理サーバ４から送信される広告表示依頼に含まれる広告情報をディスプレイ８に表示するとともに、広告表示依頼に含まれる割引情報を割引券に印字してその割引券を発行したり、割引情報を示す二次元バーコードをディスプレイ８に表示する（Ｓ７）。 10

【００３４】

次に、広告配信端末５は、ユーザにより利用された割引情報とともに示される車両情報又はユーザ情報が記憶部１６に存在するか否かを確認し（Ｓ８）、その車両情報又はユーザ情報と購入履歴情報とを広告管理サーバ３に送信する。なお、ユーザにより利用された割引情報とともに示される車両情報又はユーザ情報が記憶部１６に存在するとき、割引情報が利用されたことの対価として成果報酬を店舗やメーカーが充電スタンド管理会社や充電施設に支払うように構成してもよい。

【００３５】

そして、広告管理サーバ３は、広告配信端末５から送信される、車両情報又はユーザ情報と購入履歴情報とを対応付けて記憶部１５に記憶する（Ｓ９）。 20

図３は、車両情報又はユーザ情報や購入履歴情報を記憶部１５に記憶する際に、車両情報又はユーザ情報や購入履歴情報が格納されるテーブルの一例を示す図である。

【００３６】

図３に示すテーブル３０は、複数のレコード３１（３１－１、３１－２、・・・３１－７）からなり、各レコード３１は、それぞれ、商品を購入した日時を格納する日時領域３２、車両情報又はユーザ情報を格納するＩＤ領域３３、商品を購入した店舗名又は購入した商品のメーカー名を格納する店舗名／メーカー名領域３４、購入した商品名を格納する商品名領域３５、購入した商のカテゴリ名を格納する商品カテゴリ領域３６、購入した商品の金額を格納する商品金額領域３７からなる。なお、各レコード３１を構成する領域は図３に示す各領域に限定されない。 30

【００３７】

例えば、レコード３１－１の日時領域３２、ＩＤ領域３３、店舗名／メーカー名領域３４、商品名領域３５、商品カテゴリ領域３６、及び、商品金額領域３７には、それぞれ、「２００９／１／１」、「ＩＤ０００１」、「Ａ」、「ＳＳＳ」、「１０」、「５００」が格納されている。

【００３８】

例えば、図３に示すテーブル３０が記憶部１５に記憶されており、充電管理サーバ４から広告管理サーバ３に車両情報又はユーザ情報として「ＩＤ０００２」が送信される場合を考える。

【００３９】

まず、広告管理サーバ３のＰＯＳシステム１３は、テーブル３０の各レコード３１のうち、ＩＤ領域３３が「ＩＤ０００２」であるレコード３１－２、３１－３、３１－６を抽出し、それらレコード３１－２、３１－３、３１－６を分析することにより、商品カテゴリ「２０」の商品「ＡＡＡ」が最も多く購入されている旨の嗜好情報を作成し、その嗜好情報を「ＩＤ０００２」とともにその嗜好情報に関連する、すなわち、商品「ＡＡＡ」を取扱う店舗「Ａ」、「Ｂ」、「Ｃ」のそれぞれの広告配信端末５に送信する。 40

【００４０】

次に、店舗「Ａ」の広告配信端末５は、嗜好情報に対応する広告情報として「割引券をお持ち頂いた方又は割引情報が表示されている携帯電話の画面を見せて頂いた方、商品「ＡＡＡ」を２０％ＯＦＦ」を記憶部１６から取り出し、その広告情報、割引情報「商品「 50

AAA」を20%OFF」、及び広告料「2000円」を含む広告表示依頼を「ID0002」とともに広告管理サーバ3に送信する。

【0041】

また、店舗「B」の広告配信端末5は、嗜好情報に対応する広告情報として「割引券をお持ち頂いた方又は割引情報が表示されている携帯電話の画面を見せて頂いた方、商品「AAA」を15%OFF」を記憶部16から取り出し、その広告情報、割引情報「商品「AAA」を15%OFF」、及び広告料「1500円」を含む広告表示依頼を「ID0002」とともに広告管理サーバ3に送信する。

【0042】

また、店舗「C」の広告配信端末5は、嗜好情報に対応する広告情報が記憶部16になことを確認すると、一般ユーザ向けの広告情報として「割引券をお持ち頂いた方又は割引情報が表示されている携帯電話の画面を見せて頂いた方、商品「AAA」を10%OFF」を記憶部16から取り出し、その広告情報、割引情報「商品「AAA」を10%OFF」、及び広告料「1000円」を含む広告表示依頼を「ID0002」とともに広告管理サーバ3に送信する。

【0043】

次に、広告管理サーバ3の広告管理部14は、最も高い広告料「2000円」を含む広告表示依頼、すなわち、店舗「A」の広告配信端末5から送信される広告表示依頼を「ID0002」とともに充電管理サーバ4に送信する。

【0044】

次に、充電管理サーバ4は、「ID0002」に対応する充電スタンド情報を記憶部11から取り出し、その充電スタンド情報により特定される充電スタンド2に広告表示依頼を送信する。

【0045】

そして、充電スタンド2は、広告表示依頼に含まれる広告情報「割引券をお持ち頂いた方又は割引情報が表示されている携帯電話の画面を見せて頂いた方、商品「AAA」を20%OFF」をディスプレイ8に表示するとともに、広告表示依頼に含まれる割引情報「商品「AAA」を20%OFF」が印字される割引券を発行部10から発行したり、広告表示依頼に含まれる割引情報に対応する2次元バーコードをディスプレイ8に表示する。

【0046】

これにより、充電スタンド管理会社や充電施設は、より多くの広告料を店舗やメーカーから徴収することができる。

また、ユーザは、より割引率の高い割引券などを利用することができる。そのため、ユーザがその割引券を利用する確率が高くなるため、店舗やメーカーの売り上げを向上させることができる。

【0047】

また、広告料の一部で充電料金をまかなうように構成することにより、ユーザは無料で車両6の充電を行うことができる。そのため、ユーザによる充電施設の再利用率を高めることができる。

【0048】

このように、本実施形態の充電システム1では、ユーザの嗜好に合った広告をユーザに提示することができるため、充電スタンド2を利用した十分な情報提示効果を図ることができる。

【0049】

なお、上記実施形態では、嗜好情報に関連した広告配信端末5に嗜好情報が送信される構成であるが、嗜好情報に関連していない広告配信端末5にも嗜好情報が送信されるように、すなわち、全ての広告配信端末5に嗜好情報が送信されるように構成してもよい。例えば、商品カテゴリ「20」の商品「AAA」が最も多く購入されている旨の嗜好情報を店舗「D」の広告配信端末5にも送信してもよい。この場合、店舗「D」は商品カテゴリ「20」の商品「AAA」を仕入れ、その店舗「D」の広告配信端末5は広告表示依頼を

10

20

30

40

50

広告管理サーバ 3 に送信することができるため、店舗「D」の集客力を向上させることができる。

【0050】

また、上記実施形態では、充電スタンド 2 は複数存在するが、充電スタンド 2 は 1 つでもよい。このように構成する場合、充電スタンド 2 と広告管理サーバ 3 との間で情報を直接送受信することができるため、充電管理サーバ 4 を省略することができ充電システム 1 を簡略化することができる。

【符号の説明】

【0051】

1	充電システム	10
2	充電スタンド	
3	広告管理サーバ	
4	充電管理サーバ	
5	広告配信端末	
6	車両	
7	ICカードリーダー	
8	ディスプレイ	
9	制御部	
10	発行部	
11	記憶部	20
12	充電管理部	
13	POSシステム	
14	広告管理部	
15	記憶部	
16	記憶部	
17	広告配信部	
18	ディスプレイ	
30	テーブル	
31	レコード	
32	日時領域	30
33	ID領域	
34	店舗名／メーカー名領域	
35	商品名領域	
36	商品カテゴリ領域	
37	商品金額領域	

フロントページの続き

(51)Int.Cl.

F I

テーマコード (参考)

B 6 0 L 11/18

C